



【カラフル】

わたしが選んだ「道」

～あなたはどんな道を歩んでいきますか？～



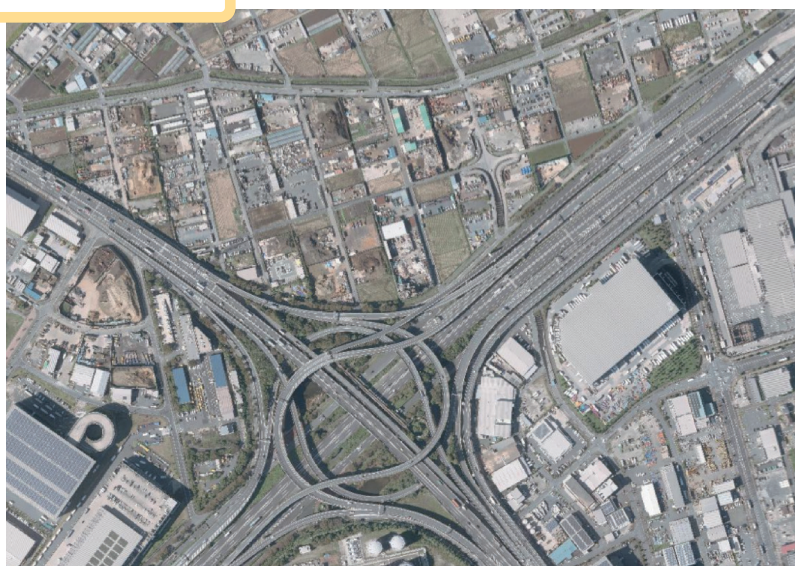
これは、三郷ジャンクションの写真です。

左上が約40年前の建設中の様子、右下が現在の様子です。

人生を「道」に例えることがあると思います。みなさんはどんな道を歩んでこられましたか？この先はどんな道を選び、歩んでいきますか？

今回は「自分の道」を見つけたかた・切り拓いたかたにお話を伺いました。みなさん「キラキラ」していました！

ぜひ、ご覧ください！！



自分の道で輝いているかたにインタビュー!!

★★ 橋や道路を造る建設業界で活躍中 ★★



現場監督も務められているそうです。



測量の様子

なぜ建設業を選んだのでしょうか？

高校3年生の時にたまたま通りかかった建設現場で働いている女性を見かけました。それがとってもカッコよかったんです！ 私もやってみたい、と思いました。

もともと建設系などに興味があったのでしょうか？

いいえ、その女性を見るまでは、美容系に進もうと思っていました。

体力に自信があったのでしょうか？

全然ありません!!部活動も運動部に入ったことはありません。

この道を選んでよかったことは？

工事の後に「家が揺れなくなった」「段差がなくなって助かります」と声をかけられ、とても嬉しかったです。また、橋の工事の後は、完成した橋の開通式を見て、“頑張ってよかった”と達成感がわきました。

職場で困ることはありますか？

私以外男性なので、食事のスピードが速くて戸惑いました。もともと人見知りなので、休憩時間などは1人でいました。現場に女性がいるのが珍しいので、よく話しかけられます。答えているうちにコミュニケーションをとるのが楽しくなりました。今は、いろいろな現場で出会うかたがたとお話しすることがとても楽しいです。

初めは、着替える場所やトイレなどに困ることもありましたが、今は女性用も準備してくれていたり、いろいろと配慮していただいています。

取得した資格はありますか？

車の大型免許と重機オペレーター。ダンプも運転します。今は土木施工管理技士2級に挑戦中です!



須合建設株式会社
山田 ひなたさん

丹後小⇒早稲田中⇒三郷北高校を卒業。生まれも育ちも三郷です!



一言メッセージ!

橋や道など、「まち」を創っていく・完成した建造物が残っていく、とても達成感・満足感の得られる仕事です。

女性の後輩が増えるのもっと楽しいと思います!!

一言

♪メッセージ♪
目標をみつけて、あきらめずに希望を持ち続けよう!



株式会社ほっとプランニング
山口 陽介さん

育児でうれしいと思う瞬間は？

昨日できなかったことが出来るようになったのに気が付いたとき、初めてできたのを目撃したときは、本当に感動し、うれしいです!

息子と遊んでいると、とても楽しいです!!

育児で大切にしていることはありますか？

基本的に息子の意見を尊重するようにしています。「どっちにする?」と息子が自分の意思で選択する機会をつくるようにしています。

将来、「産後パパ育休」はとれそうですか？

パパの産休・育休が制度化されてきましたが、私は社長ですので難しいところがあります。社員に該当する人がいたら、産休・育休が取りやすく、復職しやすい職場環境を整えたいと思います。



★★ ワーク・ライフ・バランスを自ら築き上げたパパ ★★

～☆☆～保育園の送迎～☆☆～

【平日の朝】

<自宅:3人で車に乗る>→<ママ・駅から出勤>→<長男の保育園>→<パパ出勤>

【平日の夕方】

<パパ・車で駅へ>→<ママ・駅で合流>→<長男の保育園>→<3人で帰宅>

お子さんとの関わり方はどうしていますか？

初めは抱っこの仕方もわかりませんでした。息子がかわいいので関わりたくて、常に話しかけたりたくさん触れたりしてきました。オムツ替えもお風呂も子どものことは何でもやっています。

「息子LOVE」が強すぎて、毎日「今が一番かわいい」と思っています。

家事の役割分担はどうしていますか？

妻がほとんどやってくれています。いつも感謝しています。役割分担もハッキリと決めていません。お互いに「やれること・得意なことをやろう」と話し合いました。



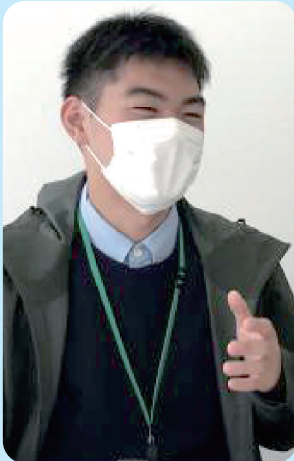
社会人デビューは会社員。休日が不定期だったり、長時間勤務になったり、とても忙しく、自分が描く人生観や家庭像と現実とのギャップに疑問を感じ、人生設計を再構築されたそうです。

一会社員として、自分の意志とは違う働き方に疑問を感じ、縁あって今の社長業になり、周りの人の協力もあって仕事と家庭のバランスもとれていると思います。

大変なこともいろいろとありましたが、それを乗り越えられたのも、妻が支えてくれたおかげです。妻には本当に感謝しています。



★★ 看護の道を選んだお二人 ★★



なぜ看護の道を選んだのでしょうか？

母が看護師のこともあり、以前から医療分野に興味がありました。自分の体の異変などに苦しんでいる人の役に立てる、災害現場などでも役に立てる、いろんな人を助けに行きたい、と思い、看護師になろうと思いました。

この道を選んでよかったことは？

患者さんには一人ずつ多種多様なニーズがありました。それに応えている看護師さんは患者さんから感謝されていました。そのニーズに応えられるところがやりがいだと思います。

人間関係論で学んだ人との関わり方や会話の進め方も役に立ちました。

今後の目標を教えてください

みんなと仲良くなって、学校生活も実習もみんなで頑張りたい。将来は、精神看護の道へ進みたいと思っています。



★★ 獨協医科大学附属看護専門学校三郷校1年生 ★★



なぜ看護の道を選んだのでしょうか？

子どもの頃、アトピーの症状が悪くなり、理解が得られない人からの心無い言葉に傷つきました。医療従事者のかたは、自分の味方になってくれました。とても優しく対応してくれる看護師のかたが多く、看護師はいいなと思いました。自分のように辛い思いをする人を減らしたい、役に立ちたいと思いました。

この道を選んでよかったことは？

看護師さんが患者さんに感謝されている場面を見て、やりがいのある仕事だと思いました。よく観察して予測する大切さを学び、生活の中でも危ないところや調子が悪そうな人に気付く機会が増え、そういう時に声をかけることができるようになりました。

今後の目標を教えてください

自分がしっかり患者さんに貢献できるようになっていきたい。周りの仲間も信じて自分も信じて頑張りたい。将来は、小児科で自分と同じ思いをする人を減らしたいと思います。



★★ 性別への違和感に気づき、自分らしく生きることを決めた増渕さん ★★



大学3年生
増渕 蒼真さん

違和感を持ち始めたのはいつ頃ですか？

中学生の頃にセクシュアリティに気づき始め、スカートをはくのは嫌だったのですが、ジャージで過ごす時間も長く、「モヤモヤしていた」感じでした。

違和感が強くなったのはいつ頃ですか？

高校に入ると、制服でいる時間も長く、「女の子」を意識せざるを得なくなり、違和感が強くなりました。

誰かに相談しましたか？

高2の夏に、このままの状況でいることに限界を感じ、いろいろ考える中で、「自分が着たい制服で通学したい」と思い、親・家族と高校の担任の先生に相談しました。

両親は「そうなんだね」というさらっとした感じ、担任の先生は「できる限り協力する」と言ってくれました。もっと否定的な反応を想像していたので意外でした。

打ち明けた後の学校生活は変わりましたか？

高校では、2年の3学期の初めに学年集会で説明してくれ、翌日から男子の制服で登校しました。当時、生徒会長をやっていたので、チラッ、チラッと二度見されたこともありましたが、特別ネガティブな態度をとられることもなく、「変わったけど何も変わらなかった」というのが実感です。

その後、高校では、女子のスラックスの制服を取り入れるなど、多様性を尊重する校則に変えてくれたので良かったと思います。

カミングアウトしたときの反応はいかがでしたか？

自分がカミングアウトしたとき、両親、家族、友達、先生、バイト先の担当のかた、みなさんが受け入れてくれたので、自分に自信が持て、行動できました。高校や大学にも相談して、制服や名前のことも理解して対応してもらうことができました。

カミングアウトする事は決して簡単な気持ちでできることではありません。カミングアウトするしないは個人の自由ですが、私はありのままで自分らしく生きていくためにもカミングアウトをする選択肢を選びました。

また、自分は、発信する機会として、2022年の成人式の「二十歳の主張」で、自分のことについて話しました。これから、理解してくれる人が増えるように情報を発信していきたいです。

将来はどんなふうに考えていますか？

今の大学は、小学生のころから学校の先生になったかったので教員免許がとれることと、数学や情報系にも興味があるので、両方学べることで選びました。ITや情報発信に関する学びも深めたいと思っています。

小さい頃から教職に就こうと思っていましたが、今は、広く情報を発信していく職業も視野に入れています。マスコミ、政治、行政など。自分は当事者として、LGBTQにこだわらず、社会的に弱い立場にある人に寄り添える人であり続けたいと思います。

一言メッセージ

ジェンダーやLGBTQなどは、小中学校の頃は情報がなくてモヤモヤしていました。行政を始めとして、正しい情報をもっと提供して欲しいと思います。当事者以外の人も知る機会が増えると、理解も深まるのではないのでしょうか。

LGBTQや男・女ではなく、一人の人間として、自分が自分らしく生きられるといいと思います。

スタートしました！



三郷市パートナーシップ宣誓制度

戸籍上の性にとらわれず、お互いを人生のパートナーとして協力しあい、生活をともにすると約束したお二人が、自由な意思によりパートナーシップ宣誓したことについて、市から宣誓証明書及び宣誓証明カードを交付いたします。



☆宣誓書類や宣誓方法など、市ホームページをご覧ください。

三郷市パートナーシップ宣誓制度

